

単元 世界の人々の生活と環境 指導計画(全9時間)

単元の学習課題

「世界各地の人々の生活の特徴は何によって決まるのか。」

(○「評定に用いる評価」●「学習改善につなげる評価」)

時	○学習内容 ・学習課題	指導上の留意点	評価		
			知	思	態
1	○気候区分 ・世界にはどのような気候があるのか？ ○単元全体の学習課題の設定 ・なぜ、スコットランドではスカートのような衣類が着用されていたのか？	・白地図帳の作業を通して、気候区分やその特徴を理解させる。 ・自然条件（気候、羊毛文化）、社会条件（戦闘時の機動性）文化的意味（民族アイデンティティ）などを資料から読み取り、学習課題について考えさせる。 ・世界各地の生活に興味を持たせ、単元全体の学習課題の設定を行う。		●	●
2 3	○自然条件や自然環境によって決まる？ ・野菜をあまりとらないのにどうして健康なのか？（寒い地域の暮らし） ・なぜ陸上ではなく、水上で暮らすのか？（暑い地域の暮らし）	・寒い地域・暑い地域の人々の生活を例に、世界各地の生活の特徴はどのように決まるのか疑問を持たせる。 ・イヌイットとブルネイを例に、気候や自然環境などが、その地域の住・食生活の特色に影響を与えていることを理解させる。 ・2つの事例から、あえて自然環境決定論に傾くことを許容する。	●	●	
4 5	○社会条件（宗教や歴史など）によっても決まる？ ・どうしてお米がとれる地域でパンが名物になっているのか？ ・同じ気候帯（自然環境）なのに、どうして生活の特徴が異なるのか？	・ベトナムのバインミーを取り上げ、どうしてお米が主食の地域でパンが名物になっているのか疑問を持たせる。 ・バインミーはフランスの植民地時代にパン文化が流入、小麦は環境的に生育されないため輸入によるものなどの社会的条件によって、ベトナムの食における地域的特色になったことを理解させる。 ・トルコのブドウ生産に着目し、他の生産国と比較してワイン生産が少ないことから、その背景に宗教があることを理解させる。 ・世界各地の生活の特徴は自然環境だけでなく、社会的条件によっても異なることを理解させる。	●	●	

6 本 時	○自然環境や社会的条件に影響を与えているものは何だろう？ ・エビと環境破壊はどのような関係があるのか？	・人間社会の営み（グローバルな経済活動）が自然環境や社会的条件に影響を与えていることを理解させる。 ・事例として、日本におけるエビの需要が東南アジア地域のマングローブの減少につながり（自然環境の変化）、現地の産業構造（社会的条件）の変化に影響を与えていることを取り上げる。	●	●	
7 8	○自分が興味ある国や地域を自然環境・社会的条件・人間の営みの視点から分析する。 ・探究活動（個人）	・生徒自身が興味のある国や地域を取り上げさせ、自然環境・社会的条件・人間の営みの視点から、その地域の変容やその原因、地域的課題を調べてまとめさせる。		●	●
9	○単元のまとめ ・探究した内容をペアになって発表し合う。 ・単元のまとめとして。レポート課題「世界の地域的特色やその課題を理解するうえで、どの視点を軸にすると相互依存関係が最もよく捉えられるか、自らが探究した事例を基に述べなさい。」に取り組む。	・一人3分時間を取り、時間があまったら、質疑応答や感想を伝えることを指示する。 ・単元のレポート課題について、ロイロノートを活用して取り組ませる。 ・レポートを書くためのネット検索はしないように注意を促す。 ・レポート課題に取り組みやすいように評価基準を提示する。		○	○